

サミットアカデミーエレメンタリースクール佐久の開校後の状況について  
 県民文化部県民の学び支援課

概要

- 1 名称 サミットアカデミーエレメンタリースクール佐久  
 校長 イチカワドイルウォルター
- 2 位置 佐久市岩村田3638
- 3 設置者 学校法人長聖  
 理事長 イチカワドイル徳恵
- 4 学則定員 180人
- 5 開校年月日 令和6年4月1日

1 児童数の状況（5月1日時点）

（単位：人）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	申請時計画	定員
R6									
R7									
うち新入生									
(応募者数)									
県外出身者									

- ・開校以来、2年連続で定員を上回る受験者数を確保し、入学者数も定員を充足している。
- ・学校説明会や近隣の幼稚園、保育園との交流学习を行ってきたこと、佐久地区および軽井沢地区の教育移住者の増加もあり、来年度向けの入学試験においても受験者数は定員の1.9倍に達している。
- ・今後も定員以上の受験者数を確保できるよう、地域に根差した広報活動を行っていく。

2 教職員の状況（11月末日時点）

（単位：人）

		校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員等	合計
計画	計	1	1	1	8	1	2	14
	専任	0	1	1	8	1	2	13
	兼任	1	0	0	0	0	0	1
R7	計	1	1	1	13	1	1	18
	専任	0	1	1	13	1	1	17
	兼任	1	0	0	0	0	0	1
差	計	0	0	0	5	0	▲1	4
	専任	0	0	0	5	0	▲1	4
	兼任	0	0	0	0	0	0	0

- ・教職員は充足している。これまでの2年間は外国人教諭の入れ替わりはあったものの、速やかな人材確保を行うことができていた。今後も、特に外国人教諭の雇用が流動的であるため、常に採用活動を継続していくことが課題である。
- ・教員指導体制として、日本人教諭と外国人教諭がそれぞれ補完的に授業を行うとともに、近隣公立学校の校長や大学教員等の有識者を招いての研修活動を積極的に行っている。

### 3 教育の特徴等

- ・算数、生活、体育、図画工作などの教科において、ネイティブの外国人教諭が英語で授業を行っている。ホームルーム担任には日本人教諭と外国人教諭の両名を配置しており、教科指導以外の時間を含めた英語による活動は、全体の約6割を占めている。
- ・国語や道徳、音楽などは日本語で実施し、世界のどこでも通用するスキルやマインドと、日本の文化や言語を通じて育まれる資質の双方を養うことを目指している。
- ・校外学習や体験学習、学校行事にも保護者や地域住民の積極的な参加を促し、開かれた学校づくりに努めている。
- ・今後は、子どもたちの興味や関心を学びへとつなげ、探究心を培う授業づくりを一層推進していくとともに、教育活動の保護者への発信を強化していく。

### 4 収支決算